

(仮) 円山動物園ポスト基本構想

第一回検討部会

平成 29 年 11 月 6 日 (月) 13:30~15:30
札幌市円山動物園 動物プラザ

議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員・出席者紹介
4. 委員長選出
5. 議事
 - (1) ポスト基本構想の検討に至った背景や動物園の現状について
 - (2) ポスト基本構想の策定と検討部会の流れについて
 - (3) ポスト基本構想の構成案について
 - (4) 意見交換 (円山動物園の役割と目指す方向性について)
6. 閉会

(仮)円山動物園ポスト基本構想策定 第一回検討部会 出席者名簿

1. 検討委員

五十音順

佐藤 香	前市民動物園会議委員・手稲区おもちゃ図書館ボランティア
高野 克也	札幌まるやま自然学校代表
福井 大祐	岩手大学農学部共同獣医学科 准教授
福津 京子	札幌人図鑑 オフィス・福津代表
水落 隆志	札幌商工会議所 理事・事務局長
吉中 厚裕	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 准教授

2. オブザーバー

五十音順

金子 正美	酪農学園大学農食環境学群環境共生学類教授
小菅 正夫	札幌市環境局参与

3. 札幌市円山動物園・事務局

加藤 修	札幌市環境局円山動物園長
神 賢寿	札幌市環境局円山動物園経営管理課長
山本 秀明	札幌市環境局円山動物園飼育展示課長
高橋 誠一	札幌市環境局円山動物園経営管理課調整担当係長
寺島 寛樹	札幌市環境局円山動物園飼育展示課飼育総括係長
赤松 里香	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 理事長
長谷川 理	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 研究員

円山動物園ポスト基本構想検討部会運営要綱

(平成 29 年 9 月 19 日環境局長決裁)

(目的)

第 1 条 円山動物園ポスト基本構想検討部会は、札幌市附属機関設置条例第 2 条第 1 項別表 1 の規定に定める附属機関である市民動物園会議の部会（札幌市附属機関設置条例第 6 条第 1 項）であり、この要綱は円山動物園ポスト基本構想検討部会の運営について定めるものである。

(組織等)

第 2 条 札幌市附属機関設置条例第 4 条第 2 項に定める臨時の委員等（以下「委員」という）6 名以内で組織する。

2 委員は、有識者その他市長が適当と認める者のうちから市長が委嘱する。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、委嘱の日から 1 年とする。ただし、特別の事情があるときはこの限りではない。

2 委員が欠けたときは、必要に応じて委員を補充できることとし、任期は前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 部会に委員長を置き、委員長は委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会の議長となり、会務を総理する。

3 委員長に事故のあるときは、あらかじめ委員長の指名する者がその職務を代理する。

(会議)

第 5 条 部会は、委員長が招集する。

2 部会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しなければ、開催することができない。

3 部会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

4 部会は公開とし、会議録は発言者の氏名を含めてこれを公開する。ただし、必要と認めるときは、委員の過半数の同意により、委員長は会議を非公開とし、会議録も非公開とすることができる。

(意見の聴取及び資料提出)

第 6 条 委員長は、検討を進めるにあたり必要があると認めるときは、部会において関係者の出席を求め、その意見、説明及び資料の提出を求めることができる。

(謝礼)

第 7 条 委員に対して、部会 1 回の出席につき謝礼として 12,500 円を支給する。

(事務局)

第 8 条 部会の事務局を、札幌市環境局円山動物園経営管理課に置く。

2 円山動物園経営管理課長は事務局を総括する。

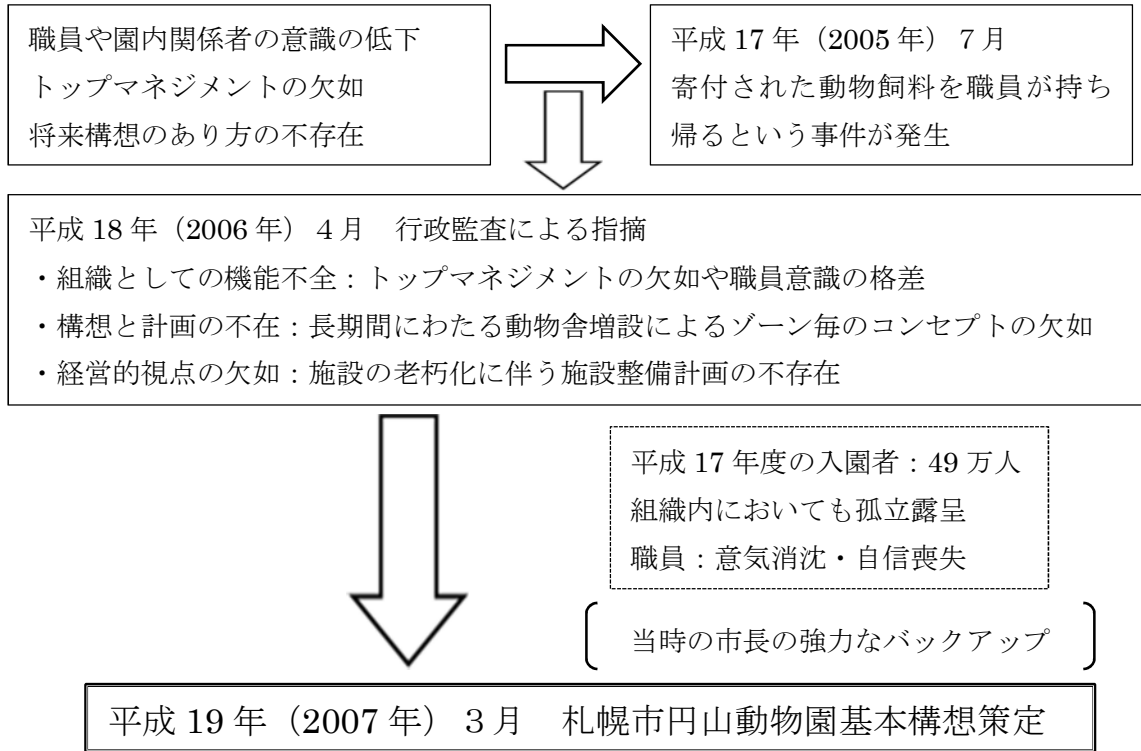
(補則)

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、会議に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

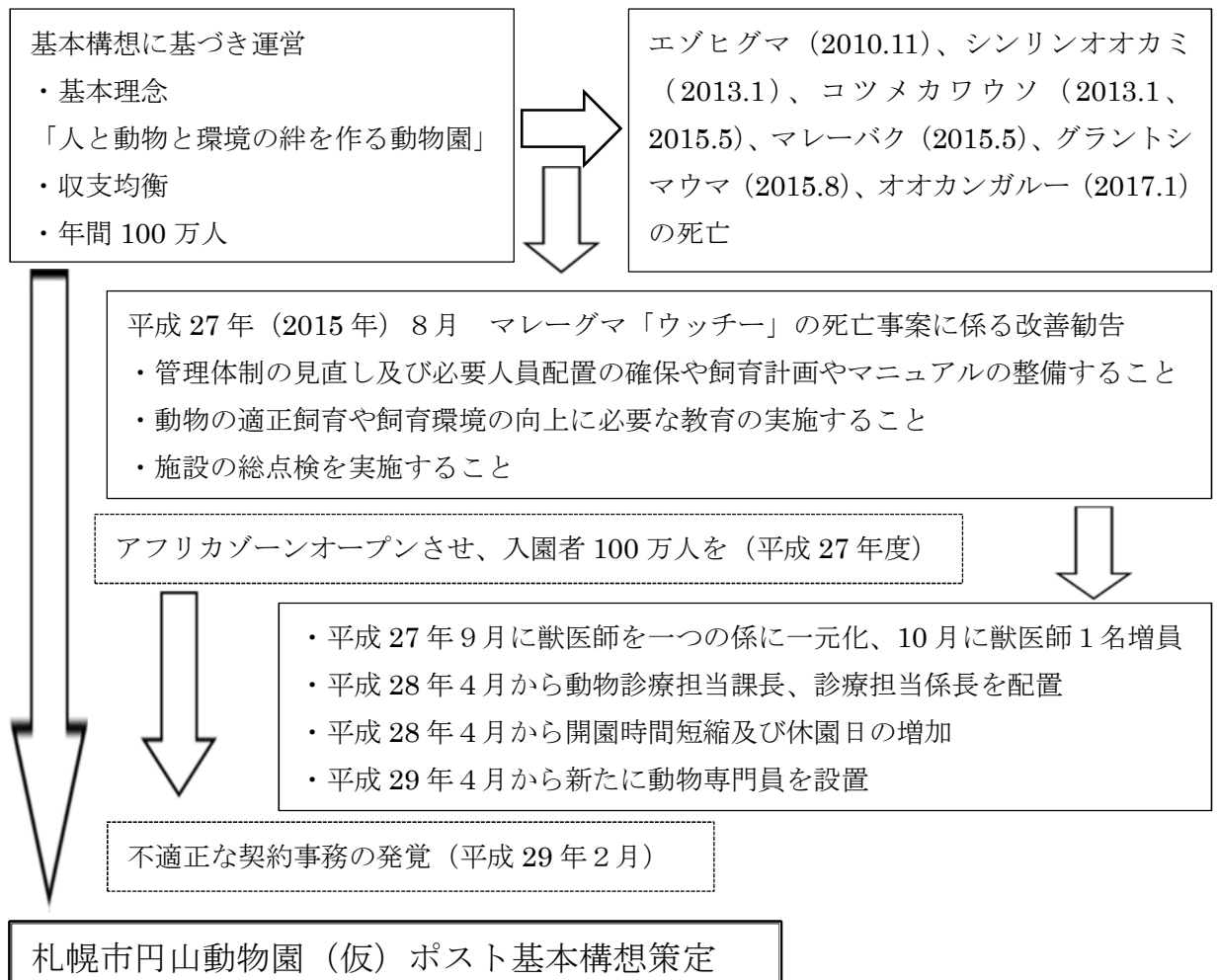
附 則

1 この要綱は、平成 29 年 9 月 19 日から施行する。

1 平成 19 年（2007 年）3 月 札幌市円山動物園基本構想策定時の背景



2 平成 29 年（2017 年）10 月 札幌市円山動物園ポスト基本構想策定の背景



年度別来園者状況

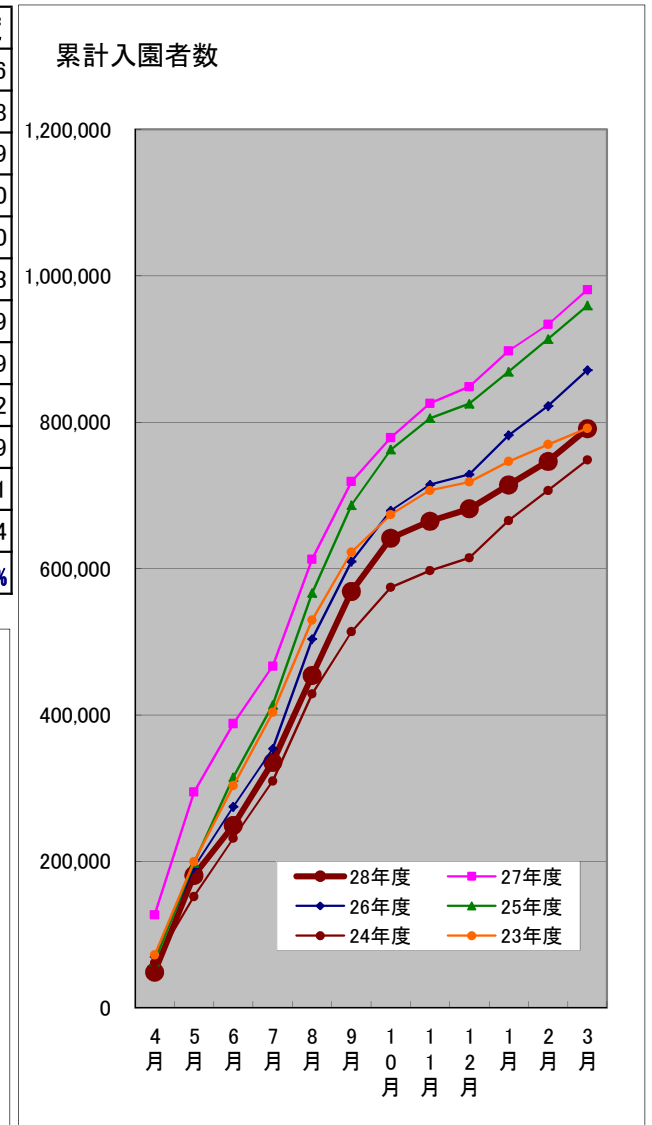
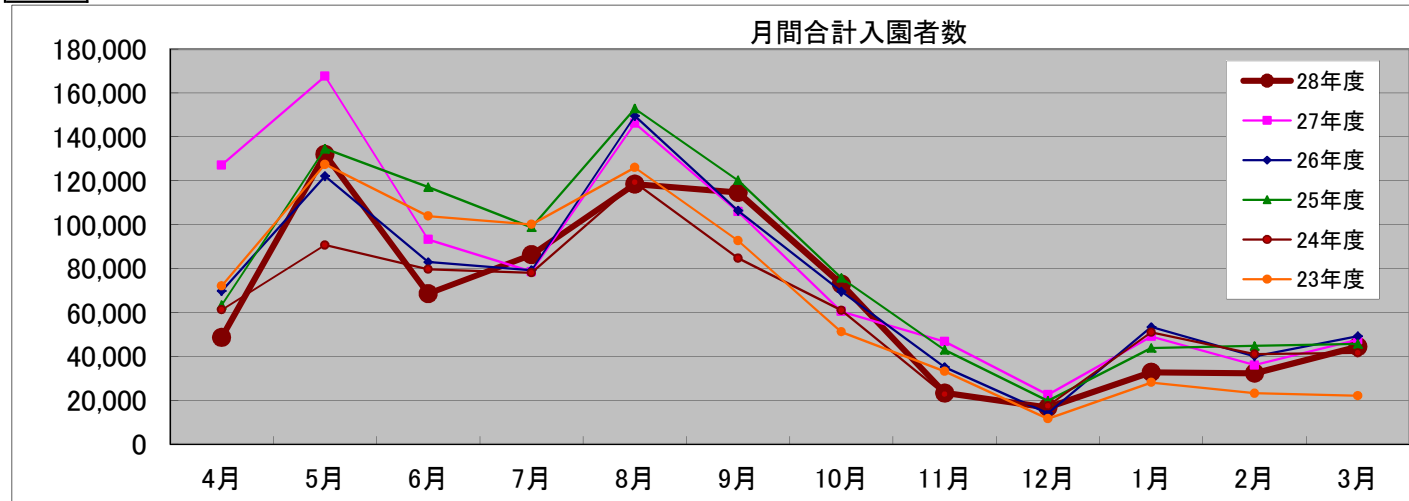
【資料 1-2】

◆月別合計入園者数比較

※夜間、後納分を含む。

◆累積グラフ

月計	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	累計	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
4月	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201	72,066	4月	48,625	127,120	69,728	63,370	61,201	72,066
5月	132,017	167,599	122,124	134,584	90,717	127,432	5月	180,642	294,719	191,852	197,954	151,918	199,498
6月	68,591	93,286	82,960	117,092	79,708	103,931	6月	249,233	388,005	274,812	315,046	231,626	303,429
7月	86,263	78,626	79,250	98,812	78,076	100,141	7月	335,496	466,631	354,062	413,858	309,702	403,570
8月	118,414	146,182	149,537	152,823	119,222	126,030	8月	453,910	612,813	503,599	566,681	428,924	529,600
9月	114,674	105,958	106,375	120,151	84,731	92,733	9月	568,584	718,771	609,974	686,832	513,655	622,333
10月	72,941	60,403	69,560	75,758	60,943	51,146	10月	641,525	779,174	679,534	762,590	574,598	673,479
11月	23,325	46,728	35,106	42,884	22,735	33,220	11月	664,850	825,902	714,640	805,474	597,333	706,699
12月	16,760	22,530	14,027	19,729	17,388	11,613	12月	681,610	848,432	728,667	825,203	614,721	718,312
1月	32,715	49,097	53,429	43,829	50,974	28,127	1月	714,325	897,529	782,096	869,032	665,695	746,439
2月	32,303	36,021	40,055	44,759	41,065	23,202	2月	746,628	933,550	822,151	913,791	706,760	769,641
3月	44,396	47,569	49,129	45,640	41,561	22,113	3月	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321	791,754
合計	791,024	981,119	871,280	959,431	748,321	791,754	前年度比	80.6%	112.6%	90.8%	128.2%	94.5%	95.1%
H17比		199.9%	177.5%	195.4%	152.4%	161.3%							



平成 29 年度 予算概要

【資料 1-3】

(1) 歳入

(単位：千円)

科目	29 予算	28 予算	予算増減	備考
合計	299,847	308,956	▲9,109	
入園料	263,466	274,094	▲10,628	中学生以下無料、65 歳以上の市民無料
売店使用料	10,531	10,440	91	
傷病鳥獣保護費	630	630	0	道委託金
寄附金	12,813	12,082	731	
広告料	4,895	3,938	957	
その他	7,512	7,772	▲260	売店光熱水費等

(2) 歳出

(単位：千円)

小事業名	29 予算	28 予算	増減	備考
合計	3,496,734	1,898,830	1,597,904	
動物園運営管理費	560,334	530,130	30,204	
動物園運営管理費	558,834	528,730	30,104	
動物園経営費	551,934	521,530	30,404	
動物園教育普及事業費	3,000	3,000	0	
円山動物園観光誘客事業	3,900	4,200	▲300	
野生動物復元事業費	1,500	1,400	100	
北海道の野生動物復元推進事業費	1,500	1,400	100	
動物園整備費	2,936,400	1,368,700	1,567,700	
動物園整備費	189,000	51,900	137,100	
園内小規模整備費	140,000	39,700	100,300	
高齢者・障がい者に優しいハートフル園路整備費	40,000	8,500	31,500	
野外彫刻修復移設事業	9,000	3,700	5,300	H28 正門ロータリー整備事業
動物園基本計画事業費	2,747,400	1,316,800	1,430,600	
ホッキョクグマ・アザラシ館建設費	827,400	909,600	▲82,200	
アフリカゾーン開業準備事業費	0	20,000	▲20,000	
類人猿館改築費	0	20,000	▲20,000	
アジアゾウ導入費	23,000	69,200	▲46,200	
ゾウ舎建設費	1,897,000	298,000	1,599,000	

* 平成 28 年度予算は補正を含む。

* 平成 29 年度の主要事業として、アジアゾウ導入に向けた国内初となる屋内プールを有するゾウ舎の建設に本格的に着手。

また、秋には国際的な基準を満たすホッキョクグマ館が竣工、来春のオープンを目指す。

その他、園内整備の一環として、園内の通路の陥没を解消するため勾配の均一化を図り、老朽化した給水管を更新する「高齢者・障がい者に優しいハートフル園路整備事業」や正門ロータリーに設置している彫刻「よいこつよいこ」を修復し移設する「野外彫刻修復移設事業」等を予定している。

(仮)円山動物園ポスト基本構想策定業務

(1)背景

円山動物園では、平成19年3月に「札幌市円山動物園基本構想」を策定した。

この基本構想に基づき、基本計画(平成19～28年度)及び基本計画改定版(平成24～28年度)を策定し、その後、第2次基本計画(平成29～33年度)の策定に着手していたが、平成27年7月のマレーグマ「ウッチー」の死亡事案の発生や不適正な契約事務の発覚など、円山動物園の運営に関して、様々な歪があることが発覚した。

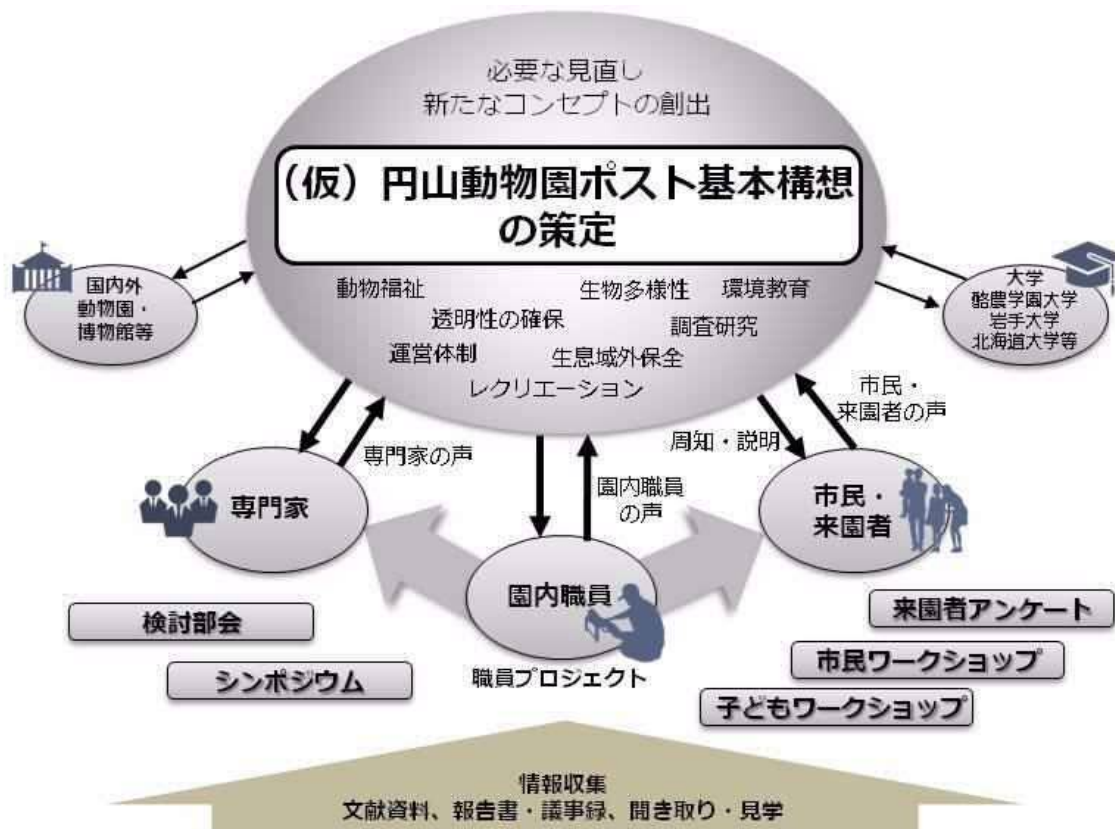
こうしたことから、平成19年3月に策定した基本構想を改め、新たな基本構想((仮)円山動物園ポスト基本構想)を策定する必要がある。

(2)目的

今後の円山動物園運営にあたっては、日本動物園水族館協会の方針に基づき、他動物園を参考としつつ、市民及び来園者の声を広く聴くとともに、園内職員のほか動物園及び関係分野における専門家等の意見を取り入れることが重要であることから、こうした経過を経て、より市民に理解の得られる(仮)円山動物園ポスト基本構想を策定することを目的とする。

(3)業務の全体構成

市民に理解の得られる基本構想の策定を目指し、専門家の意見を取り入れるための検討部会、取り組みを周知するためのシンポジウム、市民・来園者の声を聴くためのワークショップ、アンケート調査を実施する。



(4) 検討部会

● 第一回検討部会(11月6日)

(仮)ポスト基本構想を策定する業務の流れ、議論の進め方の提案。円山動物園の役割と目指す方向性について意見交換。

(資料) 現行の基本構想、本業務の背景と目的、入園者数統計、他園の基本構想の内容等

● 第二回検討部会(12月13日)

(仮)ポスト基本構想に取り入れる項目や内容等について、職員や市民からの意見や提案をどのように盛り込むかを議論。

(資料) 職員プロジェクトにあがった意見や提案、子どもワークショップの開催報告、個別項目に関する資料

● 第三回検討部会(2月7日)

(仮)ポスト基本構想の素案を提示し、内容を検討する。市民ワークショップや来園者アンケートからの民の声をどう反映するか議論。

(資料) 新たな基本構想の素案、来園者アンケート結果概要、市民ワークショップの開催報告

● 予備日(2月26日)

● 第四回検討部会(3月12日)

最終案の提示。市民周知の方法、今後の基本計画策定に向けた留意点の検討。

(資料) 前回からの修正内容表、(仮)ポスト基本構想の最終案、資料集

(5) 実施企画

■ 子どもワークショップ「いっしょに考えよう！これからの円山動物園」

会場:円山動物園 対象:小学3年生～中学生(20名) 日程:12月3日 10:00-15:00

募集方法:動物園および関係機関での掲示、ウェブサイト、メディアへの掲載、広報さっぽろなど

(概要)動物園の抱える課題や取り組みを、園内見学と説明を通して子どもたちに知ってもらい、いっしょに考えてもらう。グループ討論やポスター作成を通して、意見やアイデアを出してもらう。

(仮)ポスト基本構想の策定の参考にするとともに、みんなで考えたプロセスを公開して、多くの市民と問題意識を共有する。

■ 市民ワークショップ「みんなで考える～動物園の社会的な役割とは？～」

会場:円山動物園 対象:成人20人 開催時期:1月中旬

募集方法:無作為に抽出した2000人に案内状を郵送。参加希望者から20名選抜。

(概要)動物園には、来園者に展示動物を見せるということ以外にも、調査研究、生物多様性の維持、環境保全、教育など、さまざまな役割がある。レクリエーション施設としての役割以外に、市民は動物園に対してどのような働きを求めているのか、職員の方々といっしょに考える。

■ 来園者アンケート

対象:来園者 1000人 実施時期:11月中旬から1月末まで

方法:園内でのアンケート用紙の設置、ウェブサイトからの入力

(概要)円山動物園の基本構想につながる質問を設定する。来園者にアンケート用紙を配布し、回収箱あるいは係員への提出により回収。アンケート用紙には、円山動物園が新たな基本構想の策定に取り組んでいることを説明し、普及啓発にも役立つ。

■ シンポジウム

日時: 2018年2月下旬～3月上旬 会場:未定

(概要)円山動物園が(仮)ポスト基本構想を策定したことを宣言し、市民に広く周知する。神奈川大学の諸坂准教授に、近年の動物園に何が求められるのか、どのような視点を基本構想に取り入れる必要があるのか、概要的なレビューをお話いただく。次に円山動物園から、新たな基本構想を策定した背景、策定の経緯を紹介する。最後に、諸坂准教授を含めた数名のパネリストによるパネルトークを行う。

(6)実施スケジュール

項目	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
基本構想の策定	方針の検討	→																
	資料収集				→													
	素案作成							→										
	最終案作成										→							
検討部会	準備	→			→			→			→							
	開催				◆第1回			◆第2回			◆第3回			◆第4回				
	議事録作成				→			→			→			→				
シンポジウム	準備										→							
	開催													◆開催				
	講演録作成													→				
子どもワークショップ	準備	→			→			→			→							
	募集				→													
	実施							◆開催										
	取りまとめ							→										
市民ワークショップ	準備							→			→							
	募集							→			→							
	実施										◆開催							
	取りまとめ										→							
来園者アンケート	準備	→																
	実施				実施													
	集計・解析										→							
報告書作成	資料集										→							
	報告書													→				

ポスト基本構想の構成（案）

1 円山動物園の設置目的

2 実施事業

- (1) 野生動物の繁殖・保全
- (2) 野生動物の収集・飼育・展示
- (3) 野生動物に関する調査・研究・教育活動
- (4) 環境保全に資する活動

3 理念

4 役割（コンセプト）

- (1) 札幌市における円山動物園の役割
- (2) 日本における円山動物園の役割
- (3) 世界における円山動物園の役割

5 運営指針（ビジョン）

6 目指す方向性

- (1) 種の保存
- (2) 教育・環境教育
- (3) 調査・研究
- (4) レクリエーション

7 実現するために

- (1) 円山動物園職員
- (2) 札幌市民
- (3) 各種団体（企業やNPOなど）

8 コレクションプラン

円山動物園の役割と目指す方向性

1 動物園の役割

(1) 札幌市における円山動物園の役割

(2) 日本における円山動物園の役割

(3) 世界における円山動物園の役割

2 目指す方向性

日本動物園水族館協会では、動物園の役割として「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」が挙げられている。

(1) 種の保存

(2) 教育・環境教育

(3) 調査・研究

(4) レクリエーション

(5) その他

3 実現するために

(1) 円山動物園職員

(2) 札幌市民

(3) 各種団体（企業やNPO など）